

ヤングミセス通信

発行者：愛知県海部農林水産事務所
農業改良普及課

〒496-8532 津島市西柳原町

1-14

今回は「購買行動と SNS について」です。

1 最近の Web 機器の利用状況について

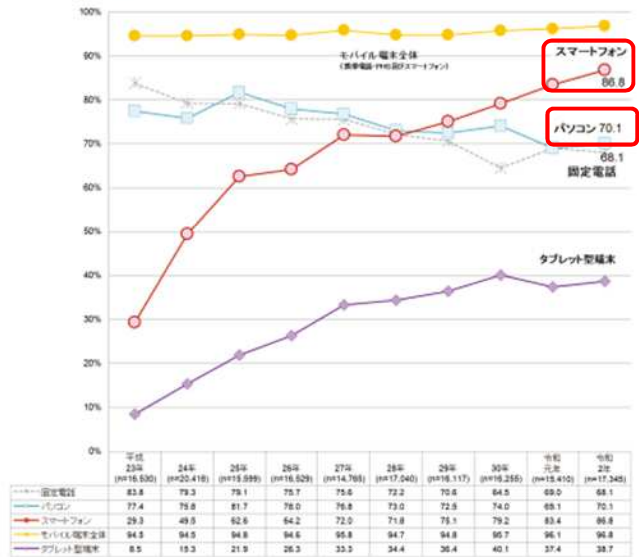
「令和2年通信利用動向調査（総務省）」の結果では、「スマートフォンを保有している世帯の割合が堅調に伸び（86.8%）、パソコン（70.1%）、固定電話（68.1%）を保有している世帯の割合を上回っています。

2 SNS の利用について

SNS の利用者は全年齢層で増加、19 歳以下、60 歳以上の伸びが大きくなっています。利用目的で最も多いものは「従来からの友人とのコミュニケーション」でした。

主な情報通信機器の保有状況（世帯）
（平成23年～令和2年）

スマートフォンを保有している世帯の割合が堅調に伸びており（86.8%）、パソコン（70.1%）・固定電話（68.1%）を保有している世帯の割合を上回っている。

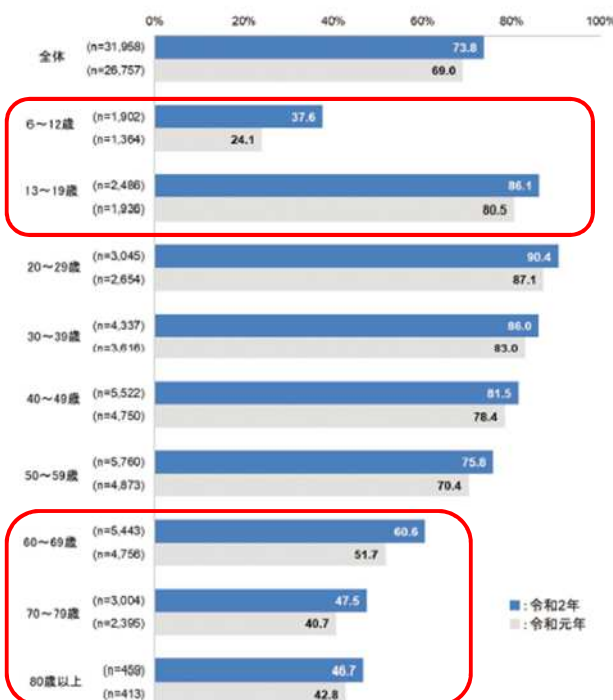


（注）当該比率は、各年の世帯全体における各情報通信機器の保有割合を示す。

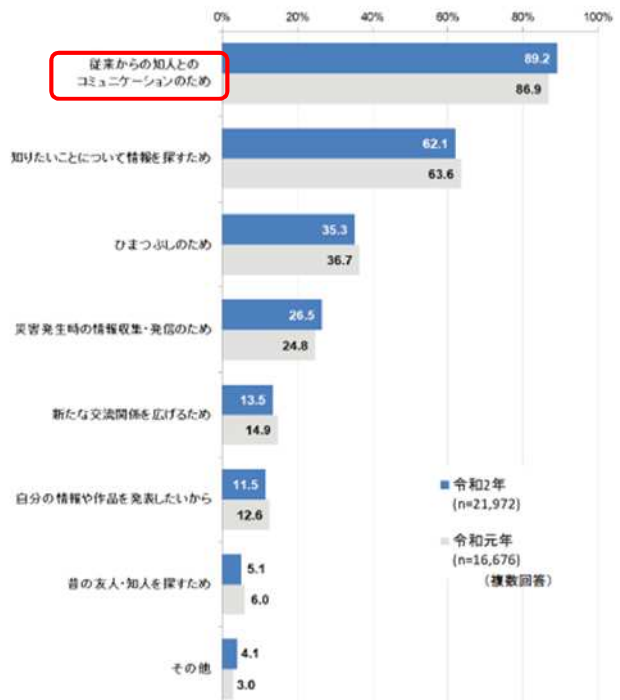
ソーシャルネットワーキングサービス（注）を利用している個人の割合は、全年齢層で増加し、特に19歳以下や60歳以上の年齢層での伸びが大きい。利用目的では、「従来からの知人とのコミュニケーションのため」の割合が最も高い。

（注）ここでのソーシャルネットワーキングサービスとは、Facebook、Twitter、LINE、mixi、Instagram、Skypeなどを指す。

ソーシャルネットワーキングサービスの利用状況（個人）



ソーシャルネットワーキングサービスの利用目的（個人）



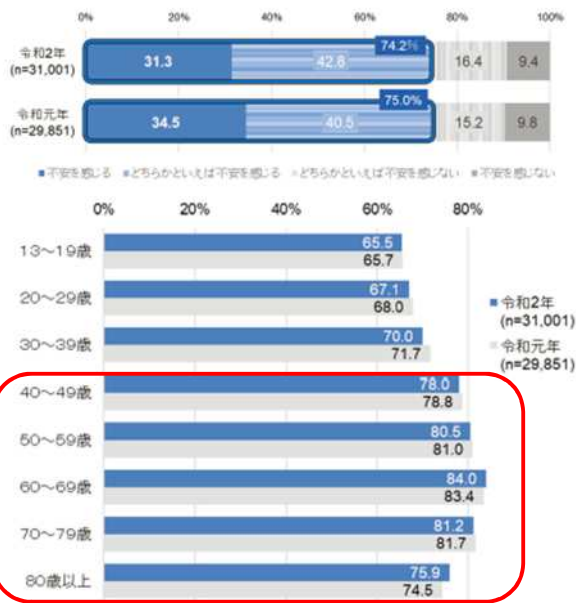
3 インターネット利用での不安について

インターネット利用については、40歳以上で不安を感じる割合が高く、不安の内容は「個人情報や履歴の漏洩」がトップでした。



インターネット利用時における不安

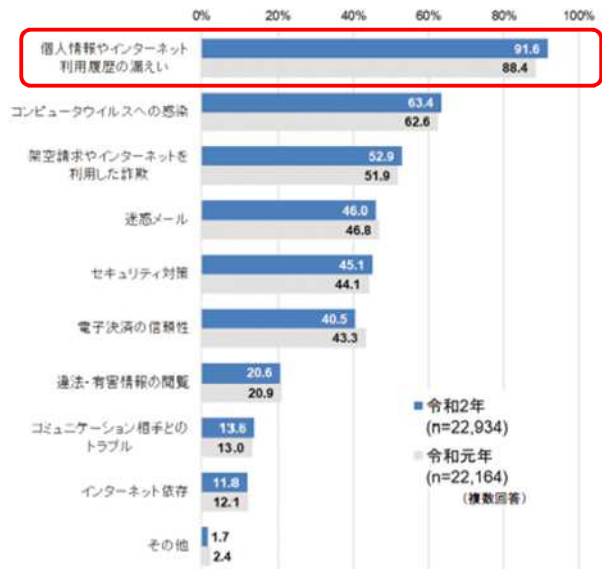
インターネット利用者の約75%がインターネット利用時に何らかの不安を感じている。
年代別では、40代以上の年齢層で不安を感じる割合が高い。



インターネットを利用して「不安を感じる」又は「どちらかといえば不安を感じる」と回答した個人の割合

インターネット利用における不安の内容

不安の具体的な内容は、「個人情報や履歴が外部に漏れていないか」が91.6%と個人情報に対する懸念が高い。また、「コンピュータウイルスへの感染」の割合も高い(63.4%)。



インターネットを利用し、インターネット利用に対して不安を感じている者からの回答

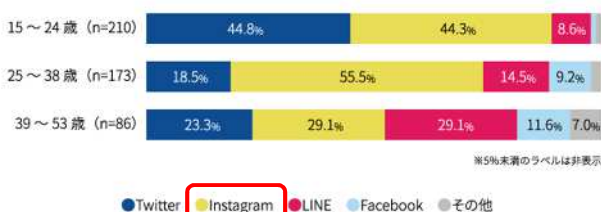
4 購買行動への SNS の影響について

38歳以下では買い物をする時の SNS の影響について、「かなり影響を受ける」と「まあまあ影響を受ける」の合計が50%を越えていました。

特に「インスタグラム」の情報から強く影響を受けていました

●買い物時、最も強く影響を受けていると感じる SNS

ベース：「買い物時、SNSの情報に影響を受ける」と回答した人 (n=469)

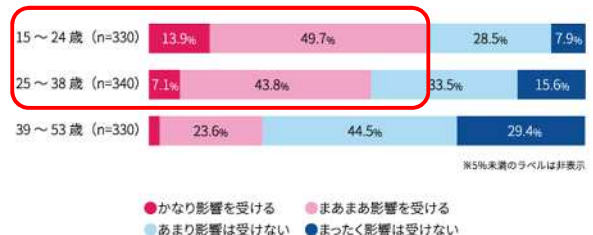


※5%未満のラベルは非表示

●Twitter ●Instagram ●LINE ●Facebook ●その他

●買い物時、SNSの情報にどのくらい影響を受けるか

ベース：全体 (n=1,000)



※5%未満のラベルは非表示

出典：市場調査メディア ホノテ
by Macromill (調査レポート)

アドレスはこちら

⇒ ⇒ ⇒

